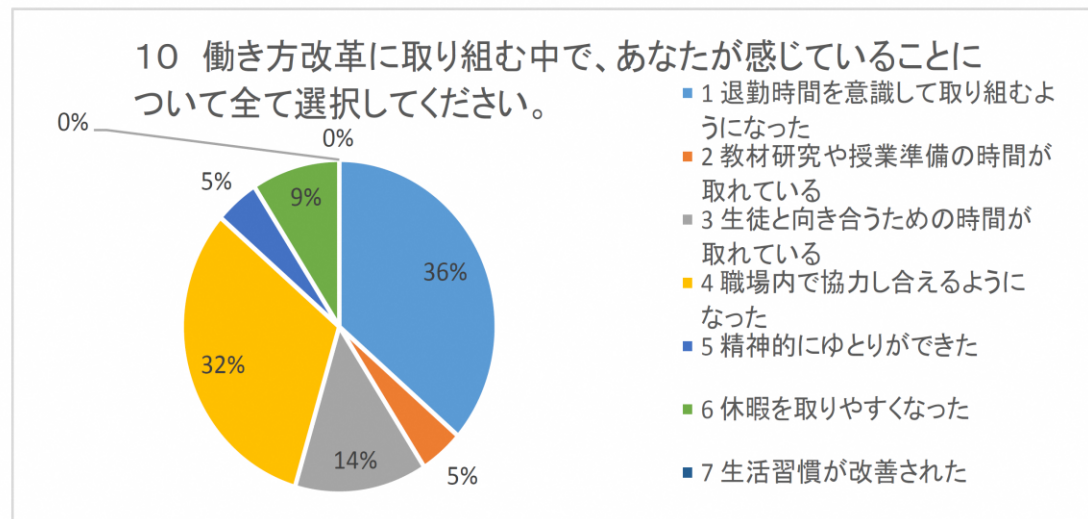


## R4

| 10 | 働き方改革に取り組む中で、あなたが感じていることについて全て選択してください。 |     |
|----|---|-----|
| 1  | 退勤時間を意識して取り組むようになった                     | 36% |
| 2  | 教材研究や授業準備の時間が取れている                      | 5%  |
| 3  | 生徒と向き合うための時間が取れている                      | 14% |
| 4  | 職場内で協力し合えるようになった                        | 32% |
| 5  | 精神的にゆとりができた                             | 5%  |
| 6  | 休暇を取りやすくなった                             | 9%  |
| 7  | 生活習慣が改善された                              | 0%  |
| 8  | その他（下の欄へ）                               | 0%  |

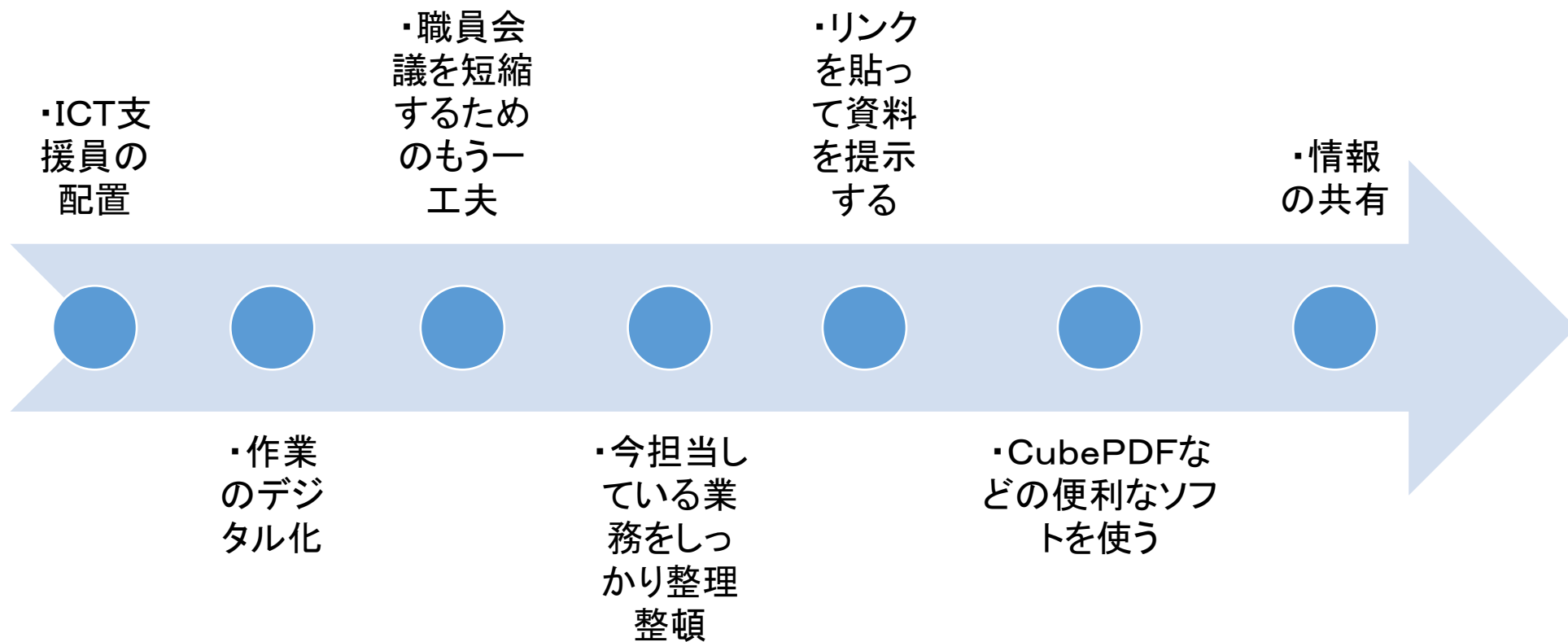


退勤時間を意識して取り組むようになった

生徒と向き合うための時間が取れている

職場内で協力し合えるようになった

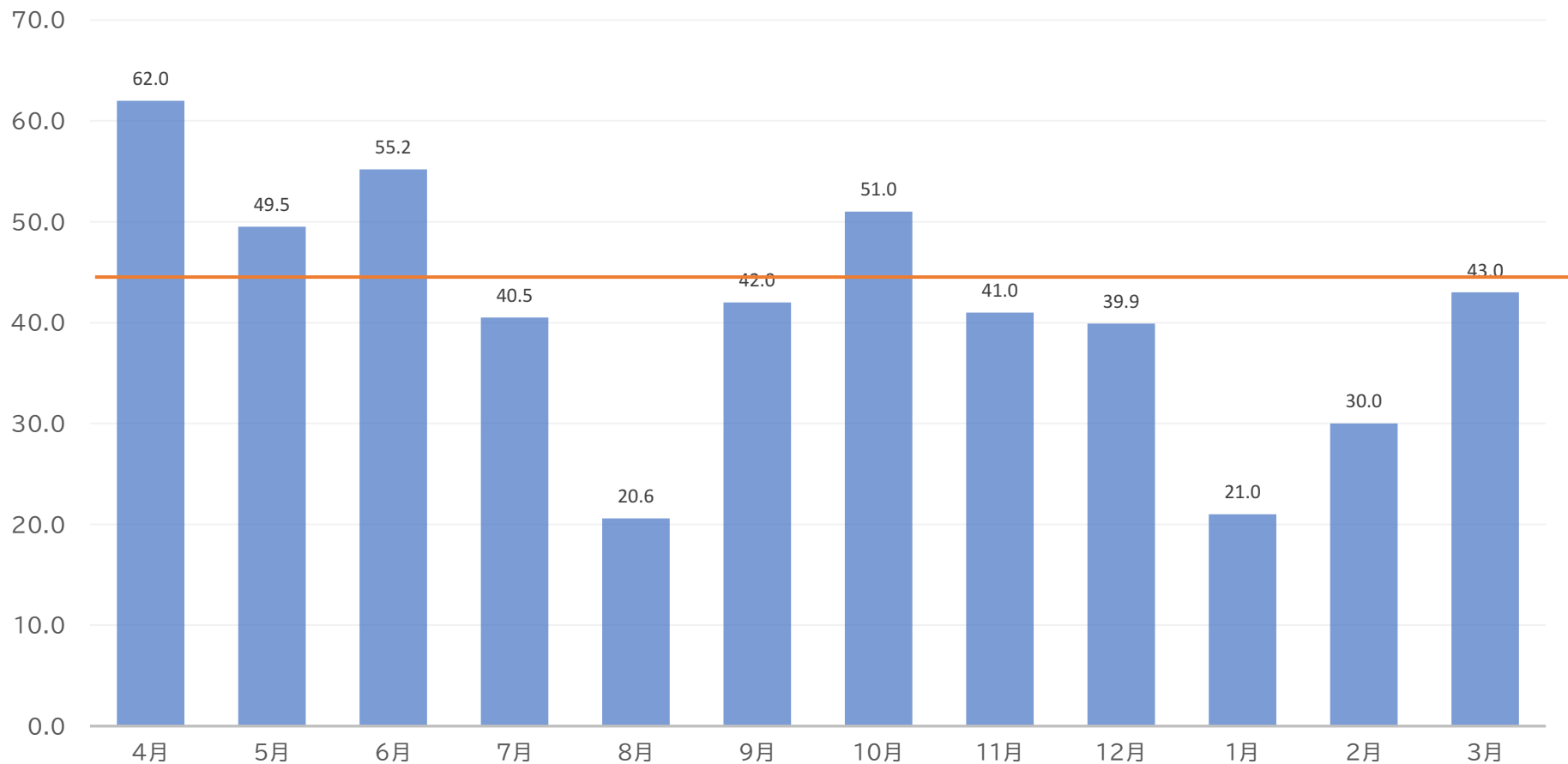
## R4



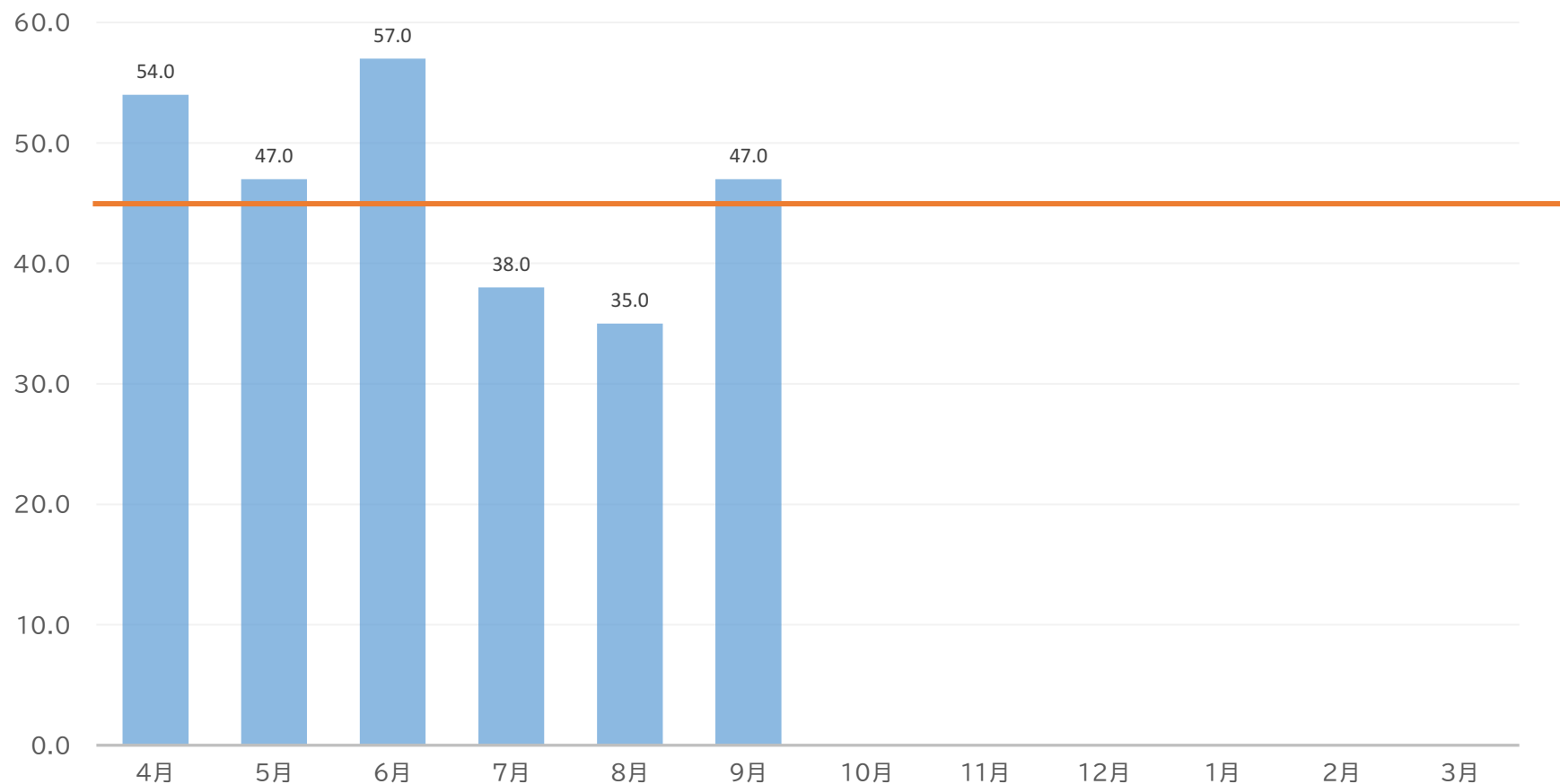
もう一歩進めるために...

R3年度

## 時間外勤務時間の推移



平均41.3時間、45時間以上の月4ヶ月



平均46.3時間、45時間以上の月4ヶ月

## 成果

- ・学年担任制の拡大等により、仕事や人間関係においてのストレスが減るとともに、職場で協力し合える体制が拡大し、やりがいをもって業務に当たってもらえている。
- ・業務が多い中でも、先生方の工夫により生徒と向き合う時間が時間が増えた。

## 課題

- ・学校体制の関係で一人当たりの業務が増えたため、在校等時間は縮まっていない。
- ・免許外の教科を担当せざるを得ないため、授業＋授業準備に関わる時間が増えてしまっている。

今後に向けて



\* 学校体制については不確定要素が多く、最大4人削減が見込まれる…。だからこそ！改善の(か)(き)・(こ)

- ・(か) 会議の提案については、もう一工夫。
- ・(き) 行事の検討(学校体制に見合った)。やらなくてもいい業務、規模を縮小する業務を見付けだし、試行してみる。(トライ&エラー歓迎！)
- ・パソコンの使い方、ソフトの活用などの情報共有。
- ・担当している業務の整理整頓(ファイル、データ)。
- ・(こ) 校務分掌業務のデジタル化の推進。

主体的な学習者は主体的な指導者から育つ。  
更に、改革を進めていきましょう！